

施策名	幼稚園における預かり保育の推進
担当課	学事課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	②	施策番号	1
2月補正予算額(千円)	220,000			決算額(千円)	207,667		
事業の概要・目的	幼稚園の教育時間の前後や休業期間中(土日祝日・長期休業)に、園児を幼稚園内で過ごさせる「預かり保育」を実施する学校法人立等幼稚園に対し人件費を補助することにより、保護者の育児負担の軽減及び仕事と生活の調和の促進を図る。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

通常日預かり保育に対する人件費の補助・・・280園へ計181,412千円 長期休業日等預かり保育に対する人件費の補助・・・201園へ計26,255千円 合計 283園へ 207,667千円を交付した。
--

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

<p>〈反映できている点〉</p> <p>①企画段階 幼稚園の通常の教育時間の前後に、園児を幼稚園内で過ごさせる「預かり保育」を実施する私立幼稚園に対し人件費補助を行うことにより、各私立幼稚園におけるニーズに応じた「預かり保育」の実施を促進している。</p> <p>②施策の効果 283の私立幼稚園に対して補助を実施しており、各幼稚園がそれぞれの幼稚園におけるニーズに応じた「預かり保育」(実施日、実施時間等)を実施することにより、幼稚園に子を通わせる保護者(男女双方)にとって育児負担の軽減及び仕事と生活の調和の促進に寄与している。</p> <p>〈課題・改善すべき点〉 「子ども・子育て新システム」関連法案が審議中であることから、幼稚園自体の今後について不透明な部分が多い。</p>

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

「子ども・子育て新システム」関連法案等の新たな制度について、情報収集に努め、適時適切に情報提供を行うことにより、新システムへのスムーズな移行を図る必要があり、本施策についても、新システムの導入に合わせ必要な見直し等を行っていくことが必要である。
--

4 男女共同参画の視点からの委員意見

<p>子育て環境の孤立化等を解消する事業として「預かり保育」は大変良い事業です。 しかし、事業主体が幼稚園であるため、園の保育内容の違いや地域による違いが生じることもあるので園・地域のバランス等も考え、県が預かり保育事業の推進をリードすることも必要であり、定期的の実態の把握にも努めていただきたい。 また、制度のよさや不便さについて幼稚園の意見も聞き取り、よりよい事業となるよう期待します。 働き方の多様化等により、幼稚園における預かり保育へのニーズも多様化しており、今後は関連法案等の状況を注視しつつ、これら様々なニーズに対応できるように期待します。</p>
--

重点(3)子育て・介護への支援

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

99

施策名	保育所施設整備の助成
担当課	児童家庭課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	②	施策番号	2
2月補正予算額(千円)	4,417,333			決算額(千円)	2,868,694		
事業の概要・目的	県内の保育所における入所待機児童の早期解消と新たな保育需要への対応及びより質の高い保育環境の整備のため、民間保育所の創設・増改築の促進を図る。						
数値目標など							
指標名等	子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合(子育てアンケート) 保育所の待機児童数が50人以上の市町村数						
目標	割合を増やす。 保育所整備により待機児童を減らす。	実績	73.9% 5市町村(H23.4.1)				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

57施設の整備、2,305人の定員増

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

<p>〈反映できている点〉 女性の社会進出やひとり親家庭といった社会情勢を反映し、増加する待機児童の早期解消を図るべく、市町村と協力し民間保育所の創設・増改築に対する支援を実施、男女を問わず子育て家庭の支援に貢献した。</p> <p>〈課題・改善すべき点〉 待機児童は、社会情勢に大きく左右される側面があるため、今後もその状況に則した施設整備の促進を図る。</p>
--

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

待機児童の解消に向け、平成24年度までとされている「安心こども基金」による保育所整備事業について、期間延長を国に要望していく。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

<p>本事業は市町村の保育所整備の計画に基づき、施設整備を助成するものですが、助成の対象は都市部の市に偏っています。地方の町村部での保育所に対する潜在的なニーズの把握などについても、県の立場として関与できないか検討してください。</p> <p>また、本事業は市町村の整備計画に基づくものですが、待機児童の解消に向けて、市町村の整備計画等に対する積極的な働きかけを検討してください。</p>
--

重点(3)子育て・介護への支援

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

100

施策名	保育士拡充への助成
担当課	児童家庭課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	②	施策番号	2
2月補正予算額(千円)	284,646			決算額(千円)	244,338		
事業の概要・目的	県内の保育所における入所待機児童の早期解消と新たな保育需要への対応及びより質の高い保育環境の整備のため、保育士の充実を図り、多様な保育ニーズに対応する。						
数値目標など							
指標名等	子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合(子育てアンケート) 保育所の待機児童数が50人以上の市町村数						
目標	割合を増やす。 保育所整備により待機児童を減らす。	実績	73.9% 5市町村(H23.4.1)				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

予備保育士の配置や特定乳幼児の受け入れのための保育士配置など、多様な保育ニーズに対応した。 33市町村、延べ 270施設に人件費を補助
--

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

<p>〈反映できている点〉 待機児童の早期解消を図りながらも、児童にとっては人格形成の基礎を培う重要な時期であることから、国の配置基準を超えて保育士を配置した場合等に対し補助を行い、児童等のすこやかな成長及び保育士の労働条件の改善に寄与した。</p> <p>〈課題・改善すべき点〉 今後も多様な保育ニーズに継続して対応する必要がある。</p>

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

保育士の拡充に向け、保育所運営費の保育単価の引き上げなど、保育士の処遇改善に向けた制度の充実を国に要望し、多様な保育ニーズに対応していく。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

<p>乳幼児期の子育て環境は子どもの生涯に影響を及ぼし、また保育士の労働環境は子供の成長に少なからず影響を与えるため、本事業は大変重要です。しかし、保育士の就業期間が平均8年ということからも、保育士の労働環境は厳しいものです。保育士としての長期のキャリアを形成できるよう、本事業を有効に活用してください。</p> <p>保育士数は不足しているとのことですが、今後も保育単価の引き上げや保育士の処遇改善に向け国に強く要望してください。</p>
--

施策名	放課後児童クラブの助成
担当課	児童家庭課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	②	施策番号	2
2月補正予算額(千円)	1,285,000			決算額(千円)	1,251,745		
事業の概要・目的	小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものに、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。						
数値目標など							
指標名等	子どもを生み育てやすいと感じる家庭の割合(子育てアンケート)						
目標	割合を増やす。	実績	73.9%				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

市町村が実施又は助成する放課後児童クラブの運営費について助成を行った。
(平成23年度：51市町村、613クラブ)

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉

女性の社会進出等が進み、放課後児童クラブの保育需要も年々増加する傾向にある。小学校就学後の児童が安心して放課後等の生活を送れる場を確保することにより、子育て就労家庭への支援や放課後児童の健全育成に貢献した。

〈課題・改善すべき点〉

放課後児童の健全育成を図るため、運営費の補助基準額の引き上げ等、助成額の更なる増加を図る必要がある。

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

放課後児童の健全育成を図るため、運営費の補助基準額の引き上げ等を国に要望していく。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

本事業は仕事と子育ての両立にとっても大変重要な事業であり、国に対して積極的に要望していくためには、現場のニーズの把握が重要です。

放課後児童クラブを利用する子どもたちは、1日の学業終了後に学年の差を超えた別の集団、指導員と協調しながら集団生活をするため、定時に帰宅する子どもに比べて精神的に負荷がかかります。だからこそ、施設、環境等には十分な配慮が必要であり、指導者の力量も問われます。本事業は補助金の助成というものですが、子供の成長に大きな影響を与える事業であることから、県は本事業を通じて、助成を受けた放課後児童クラブの運営状況の把握や細やかな指導及び補助金の適正な配分について、チェックを行って、本事業を効果的効率的に活用してください。

施策名	子どもの医療費助成の充実
担当課	児童家庭課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	②	施策番号	3
2月補正予算額(千円)	5,600,000			決算額(千円)	5,331,843		
事業の概要・目的	子どもの保健施策の充実及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、子どもの疾病に係る医療費について、市町村が行う医療費助成に要する経費を助成する。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

給付実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助対象者 461,838人 ・ 延べ件数 6,844,733件 ・ 延べ日数 10,298,139日 						
------	---	--	--	--	--	--	--

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの医療費助成を行うことで、経済的負担を心配することなく医療サービスを受けることができ、更には、少子化傾向が続く中、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを進める等、男女の子育て支援に貢献した。 ・ 所得制限を設定した医療費の助成により、経済的格差の縮小に貢献した。 ・ 子どもの健やかな成長を図るため、子どもの疾病の早期発見、早期治療に貢献した。 						
〈課題・改善すべき点〉	特になし						

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

--

4 男女共同参画の視点からの委員意見

<p>世代の収入格差、こどもの貧困が問題とされる中で、子どもの医療費を助成する本事業は大変重要です。今後も医療費助成の内容が後退することのないよう、本事業を有効に活用していただけるよう期待します。</p>
--

施策名	障害児・者やその家族に対する支援
担当課	障害福祉課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	②	施策番号	4
2月補正予算額(千円)	48,200			決算額(千円)	48,200		
事業の概要・目的	発達障害者支援センターにおいて、発達障害児(者)及びその家族の相談に応じ、適切な指導又は助言を行うとともに、普及・啓発や研修、関係機関等との調整を行う。						
数値目標など							
指標名等	相談者数						
目標	1,800	実績	3,434				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

発達障害者支援センターにおいて、発達障害児(者)及びその家族からの相談に応じ、支援を行った。 (1) 相談支援 1,296件 (2) 発達支援 1,813件 (3) 就労支援 325件

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉 ①企画段階 男女双方が相談できるように、毎週土曜日、相談に対応する。 ②施策の効果 ライフステージに応じた支援を行うため、発達に応じた支援、就労に対する支援等を行った。 〈課題・改善すべき点〉 特になし
--

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

--

4 男女共同参画の視点からの委員意見

発達障害児・者への各相談機関の支援内容や役割については、県民にあまり周知されていないため、発達障害者支援センターの支援内容等についても、より積極的に広報していく必要があります。各相談機関が広報活動を充実させ、それぞれの支援内容や役割を利用者や関係機関に周知させることにより、各機関の連携が可能となり、より充実した支援ができます。 また、今後は市町村における支援と県における支援の連携、役割分担や差別化を図り、より充実した支援施策となるよう期待します。
--